



具体的な取組み例

●「輝く大人」の秘密をさぐる

学校は、子どもたちが「輝く大人」に出会ったり、産業界について学んだりする機会を積極的に設けましょう。

●職場で伝える職業人の基本

産業界は、職場体験やインターンシップなどにおいて、子どもたちに、時間を守ること・挨拶すること・整理整頓することが、働くことの基本であることを実感させましょう。

●「夢のスケッチブック」の実現に向けて

学校と産業界は、職場体験を通して、子どもたちが「なりたい自分」に近づくための具体的な道すじを考えさせましょう。

そして、今できることを計画し、実行することによる充実感を味わわせましょう。



一つ一つの製品を厳しくチェックすることで、責任をもって仕事をする大切さを学びました。(広島工業高等学校)

産業界が果たすべき役割

産業界は、子どもたちを大人に育てていくことができる教育力を持っています。産業界は、子どもたちにとって、社会を味わうことのできる一つの教室であり、先生であり、教科書であることが求められます。

改善の考え方

産業界は、本物に触れさせる体験を通して、子どもたちの知的好奇心を醸成し、学習意欲を高め、将来就きたい仕事へのあこがれを強くさせていくことが大切です。